																	(1117			
	事業所名		いころきっず/いころきっず2				支援プログラム				」(参考様式)	(参考様式)			6	年	4	月	1 日	
	法人(事業所)理念		「子供の笑顔は宝物」 子どもたちが持っている可能性を伸ばし、日々子どもとそこに関わる周りの大人たちの未来の笑顔のために。																	
	支援方針		子どもたちが社会に出たときに少しでも困りごとが軽減するように、しっかりと子ども一人ひとりに向き合い、持っている可能性を見つけ、できることが一つでも増やせるようなお手伝い をしていく。																	
				9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施	の有無	あり	なし					
												支 援 内	容							
	健康・生活	Î	日常生活スキル獲得のための、身体機能の土台作りから始まり、微細作業の動きの獲得を目指した活動を行っています。また、月齢に合わせた課題を行っています。																	
	運動・感覚	ţ	作業療法士、理学療法士からのアドバイスをもとに、感覚統合の視点から個別、集団での身体機能向上活動を行っています。																	
	本 人 認知・行動 援]	成長に合わせ状況に対応できるような認知の形成や、行動の獲得のため、毎日個別または小集団でのソーシャルスキル遊びや活動を準備しています。																	
	言語コミュニケ	ーション	言語聴覚士アドバイスのもと、コミニュケーションからの言語獲得や言語理解など、個別の段階に分けた支援を行っています。																	
	人間関係 社会性		社会生活が円滑に行えるよう、小集団での活動を月齢や個々の成長に合わせたグループ分けをし、行っています。																	
	家族支	援	定期的に保護者 は都度行ってい	ハます。								移行式	泛援		機関とともに					
	地域支援・均	也域連携	園や学校、その								います。	職員の質	の向上	定期的にこ 修を行って	コンサルタント います。	トによる耳	職員研修	や、外部	機関や専	門職員による研
	主な行	・プログラミング・園芸療法・夏祭り・クリスマス・外出行事 主な行事等 ・長期休みなど外部講師を招いています。例)ヨガ、童歌、札幌市出前講座、ネイチャーガイド等																		